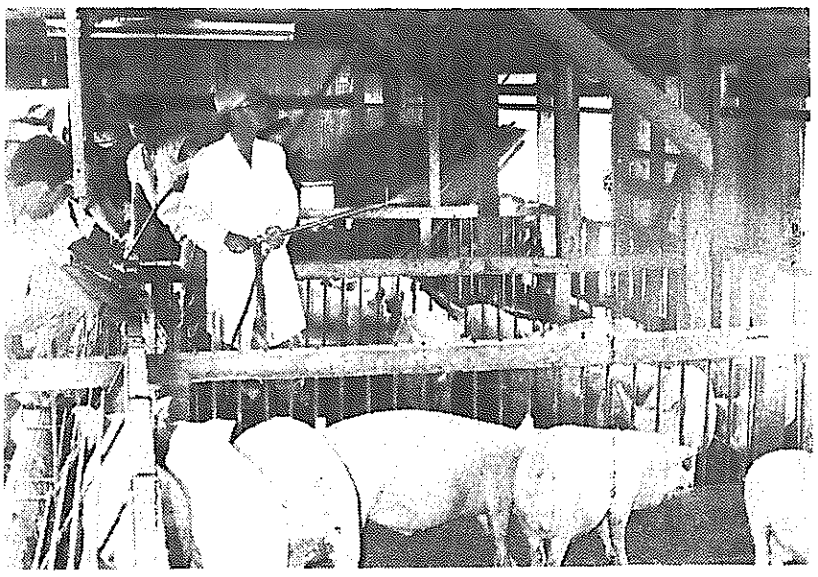
初の養豚集団消毒

17部落を指定



ハエやカなどの害虫はいっぴきものがすまいとたんねんに消毒する獣医（戸頭地区で）

薬剤は市で負担

市農政課では、七、八月の二カ月にわたって、中蒲家畜保健所、普及所、農協、地元獣医、地元代表などの協力で市内九地区ー十七部落ーで豚の集団消毒作業にあたっています。

これは、最近市内の農業経営の中にしめる畜産の割り合いが多くなってきたため、いままで見られなかったような伝染病やその他の病気が広範囲に発生しており、このままほおっておくと、さらにいろいろの病気が増えることを予想されるので、この集団消毒をけいきに病気の予防、家畜の健康、環境衛生などの知識の普及をはかり、養豚経営の発展をはかろうということで市が十一万の予算を計上しておこなったもの。

この消毒につかった薬剤は殺虫、殺菌兼用のもので年二回分を市が現物でわたしています。

このように、市が独自で予算を計上して集団で消毒をおこなったのは当市がはじめて〝いままで〟豚舎〝といえば前をとおっただけでブーンとあの独特のにおいがしたり、ハエやカがブンブンとんでいたりするところを想像しました。しかし、これからは、ハエやカのいない清潔な豚舎がたくさんできることでしょう

新しい選挙人名簿をお見せします

八月二十六日から九月九日まで

ことしの六月一日付けで公職選挙法の一部が改正され、永久選挙人名簿をつくることになりました。

この名簿をつくるため六月二十日現在で、全国いっせいに住所地の調査がおこなわれました。市選管でも同日付けで調査いたしましたので、あなたの家庭へ調査員がおうかがいしたことと思います。

選管では、いまその調査した結果を整理しています。

その整理した名簿をみなさんにある期間お見せするのを「縦覧期間」といいます。

このたび新しくつくられた選挙人名簿の縦覧を、八月二十六日から九月九日までの十五日間、毎日午前八時三十分から午後五時まで市選管事務局（市役所分室――もとの電報電話局）でおこないます。（土、日曜でも見られます。）

資格のあるかたは、自分や自分の家庭のかたが名簿に載っているかどうかお確かめください。

▼この調査をもとにしてつくられた新しい名簿は、これから選挙があるたびに用いられます。

▼この名簿に登録されたかたは、登録資格に異動が生じないかぎり永久に登録されます（たとえば住所移転など）

▼この名簿に登録されたかたはつぎのようなかたです。

1.日本国民である人

2.昭和四十一年三月二十日以前から引き続き白根市に住んでいる人

3.昭和二十一年十月一日までに生まれた人

なお、この名簿にのらなかった人で、新しく満二十歳になった人やことしの六月二十日以後に転入されたかたは名簿確定後登録の申し出をしてください。そうでないと名簿には記載されませんし、投票もできないことになりますし、わかりにくいところがありましたら市選管事務局へ問い合わせください。

行事予定

＜半旗をかかげ１分間のもくとうを＞

きたる15日には全国いっせいに「戦没者追悼式」がおこなわれます。市でも、同日11時から市厚生会館で同追悼式をおこないます。

当日は、戦没者のめいふくをいのるため、12時のサイレンをあいずに出席者全員が１分間のもくとうをささげます。各家庭では、半旗をかかげ、12時のサイレンで出席者と同じく１分間のもくとうをささげ、戦没者のめいふくをいのりましょう。

＜大風合戦の写真展　どうぞごらんください＞

きたる26、27、28日の３日間、厚生会館で「大風合戦の写真展と名石展」が開かれます。

これは、市公民館白根分館が主催しておこなうもので、ことしの風合戦期間中にうつした写真で、先日募集したときに応募された作品97点をすべて展示します。

作品の中には、綱を引き合っているもの、空高く舞い上がっているもの、美人コンテストの状況をうつしたものなどたくさんありますので、見学者をたのしませてくれることでしょう。

＜白根小グランドで民謡踊り＞

きたる15、16、17日の３日間、白根小グランドで「民謡踊り」をおこないます。

これは、市公民館白根分館が主催しておこなうもので、４、５年前からおこなわれています

例年は、1000人くらいの踊り子がグランドをうずめ年輩者は若い人に負けず、若い人はエネルギーを発散させています。たくさんのかたが参加してこのもよおしものを盛大におわらせたいものです。

ユーモアをまじえた講演に思わず顔がほころぶ学級生

名場面　勤労青年学級

ことしはまたひとつふえております。

講師のかたが講演にくるとどの先生もきまって〝この青年学級は盛さんですね〟とおどろいて帰るそうです。

青年学級の学習方法は、一般教養を身につける部門と技術面を学ぶ部門とふたつの型があるそうです。

当市の学習内容は一般教養を身につけることを目的にしています。

◇この学級の特色

毎週金曜日の五時三十分から受け付け、六時から八時三十分までの二時間三十分学習をしたりクラブをやったりしています。

五時三十分からの受け付けはちょっと中途半端な時間ですが、じつはここに市教委の苦労があるわけです。

それはみんな勤めをもっておりますので、時間をすこしおそくすると家へ帰ってまた出かけてくるということになります。それではおっくうになり出席率が悪くなるだろうというので同時間に受け付けをやり、パンと牛乳を出しているわけです。このように給食をおこなっているのは県内でもめずらしく、これなどが同学級の特色といえましょう。

◇クラブ活動

卓球、バドミントン、お茶生け化、新聞報道部、写真部の六つのクラブがあります。

スポーツ関係のクラブでは若いエネルギーを健全に発散させ、文化関係のクラブではそれぞれのマナーなどをおぼえるのに一生けん命。

いままでにいろいろな講師から講演を聞いたり、フォークダンスをやったり、他市町村の学級生と交歓会をやったりして、たのしんでおります。

丸山社教課長は「市内の若者に何かを学ぼうという意欲が出てきたのではないかと思います。講演のときの目は真剣そのものです」とかたっていました。

市内に青年学級ができたのは、昭和二十八年ころです。

その当時は、現在のように大がかりにはやられていなかったそうです。

それが、いまではパンや牛乳などの給食はもちろん、青年学級に必要な費用いっさい無料となっています。

この白根市勤労青年学級は昭和三十九年からはじめられたもので、開級した同年から毎年文部省の国庫補助学級として指定を受けています。

青年学級は、勤労青年の自主性を尊重し、生活の実態や地方の実情にあわせて開設し運営するよう法律で定められております。

県内にはたくさんの青年学級が開設されていますが、どの学級内容を見ても、あまりかっぱつにおこなわれていないというのが実情のようです。

県内の実情とはべつに、当市の青年学級の活動はますます盛んにおこなわれています。

秋にそなえて

2学期の準備を忘れずに

楽しかった夏休みも後半にはいり、２学期はもうすぐはじまります。お子さんのからだの調子や顔色はどうですか。

衣の手入れや台風についての心がまえ、２学期に入る前の準備などをつぎにかかげてみました。

暑い暑いとくらしてきた八月ももう10日を過ぎました。

このころになると朝がたはかなり冷えこみます。お子さんのおなかが冷えないよう寝るときには腹まきを忘れずに。

８、９月は大きな台風が２つか３つやってくることが予想されます。

▽衣の手入れ

うっかりしまいのこした毛、の洋服やセーターなど、押し入れでかびがはえていませんか。早めにクリーニングに出して、ポリエチレンなどの袋に防虫剤を入れてしまってください。

もめん、あさ、合繊ものなど水洗いできるものは洗ってからよくすすいでください。

絹ものなどは、しろうとではなかなかうまくゆきません専門のかたにたのんでドライクリーニングしたほうが無難でしょう。

窓や間じきりなどにかけたレースのカーテンも下旬になるとうすよごれしてきます。

▽台風への心がまえ

台風がきたらどうしようとどこの家庭でも考えていることと思いますが、なんといってもいちばん大切なことは尊い人命をなくしたり、けがをしたりしないことです。そのためには、台風がきてからあわてなくてもよいように、用具などをあらかじめそろえておくことが必要と思います。

また、台風のあとしまつも容易ではありませんが、伝染病の発生が最もおそろしいので、保健所などの指導を忠実に実行してほしいものです。

▽夏のつかれをとって

お子さんの健康に異状はありませんか。体重、食欲、顔色などをよく観察してください。夏まけしているのだろうなどとかんたんにかたずけずようすがおかしかったらすぐ医師にみてもらいましょう。

ノート、鉛筆、クレヨン、習字の道具などの学用品はそろっていますか。かばんのバンドがきれていたりしていませんか、全部とり出して調べてみましょう。セルロイドの下敷きや鉛筆入れは、洗剤をつけてスポンジなどで洗うときれいになります。

宿題も、登校まぎわになってあわてることのないよう早めに整理させることです。

お子さんの健康状態の観察や登校準備の点検はもちろん必要ですが、夏休み中のなまけぐせや遊びぐせ、校友関係や持ち物などにも十分注意しましょう。長い休暇後、非行に走るといった子どもが多くあることをお忘れなく。